

募集概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが向うなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会で発表、さらに実践した内容について、交流フォーラム(中間報告会)と活動報告会で発表していただきます。

活動報告会においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を授与します。

また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページなどで広く公開します。

【サポートの内容】

- プランの実践にかかる経費の提供/上限 30万円(査定による)
※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。
- 交流フォーラム(中間報告会)・活動報告会発表者への交通・宿泊費の支給。(1名分×3回分)
- プランの実現に向けて、下記のサポート主体が助言や現地指導等の支援を行います。
- 防災活動の手法・事例の収集と活動情報の発信ができる各種webツールを提供します。

【サポート主体】

- 防災教育チャレンジプランアドバイザー
・防災教育チャレンジプラン実行委員
・防災科学技術研究所研究員
・サポーター(過去の実践団体)
・その他防災教育専門家等
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局

【表彰】

- 活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与いたします。
- 防災教育チャレンジプラン「サポーター」として認定いたします。

応募資格

- ・防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設(保育施設・幼稚園・学校等)、教育委員会、NPO、民間企業、個人、地域団体(民間事業所、各種団体、行政機関)
- ・採用された場合は、開催予定の実践団体決定会、中間報告会、活動報告会の計3回の会合に出席できること。

応募部門(プランの対象別)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| A. 保育園・幼稚園等の部 | B. 小学校低学年の部 | C. 小学校高学年の部 |
| D. 中学校の部 | E. 高等学校の部 | F. 大学・一般の部 |

応募方法

ホームページ(<http://www.bosai-study.net>)より事前登録後、応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上ホームページへアップロードしてください。

応募締め切り **2019年11月29日(金)**

審査

「防災教育チャレンジプラン実行委員会」の選考により決定します。審査の結果は、事務局よりメールにて応募団体へご連絡します。(応募締め切り後1ヶ月程度)

【審査の観点】

- ・プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
- ・応募された防災教育プランの有効性・新規性
- ・活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

【次年度チャレンジプランの発表】

・当年度の活動報告会の会場にて、次年度チャレンジプランの計画を発表いただきます。

応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
E-mail: cpinfo2865@bosai-study.net / FAX: 03-3556-8217



河川基金 公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。

Disaster Management Education Challenge Plan 防災教育チャレンジプランの流れ

- 1 募集**
応募締切2019年11月29日(金)
教育・社会福祉施設/教育委員会/NPO/地域団体/個人
- 2 審査**
2020年1月
- 3 決定発表**
2020年2月15日(土)
2019年度防災教育チャレンジプラン活動報告会
開催(会場:東京大学 地震研究所1号館)
○2020年度チャレンジプラン(活動計画)発表
○2019年度チャレンジプラン成果発表・表彰
(防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定)
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換等
- 4 実践**
2020年4月~2021年3月
2020年度
防災教育チャレンジプランの実践
○チャレンジプランへのサポート
プラン進行や教材作成にあたってのアイデア提供・
資料提供等
○アドバイザー等の紹介・派遣等
- 5 中間報告会**
2020年10月(予定)
2020年度防災教育交流フォーラム
開催(会場未定)
○2020年度チャレンジプラン中間報告
○交流会・意見交換会
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換・事例紹介等
- 6 活動報告会**
2021年2月(予定)
2020年度防災教育チャレンジプラン活動報告会
開催(会場:都内にて開催予定)
○2020年度チャレンジプラン成果発表・表彰
(防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定)
○防災教育チャレンジプランサポーターに認定
○2021年度チャレンジプラン発表

2019年度防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員一覧

- 委員長
林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
市川 啓一 株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役
井上 浩一 防災ネットワークプラン 代表
鍵屋 一 跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部コミュニティデザイン学科 教授
金田 義行 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構副機構長
地域強化センター長/学長特別補佐・特任教授
- 木村 玲歌 兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究所 教授
国崎 信江 株式会社危機管理教育研究所 代表
嶋中 暢之 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
齊藤 清一 特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 事務局長
酒井 慎一 東京大学地震研究所 観測開発基盤センター 准教授
佐藤 公治 南三陸町立歌津中学校 主幹教諭
佐藤 健 東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門災害復興実践学分野 教授
澤野 次郎 災害救援ボランティア推進委員会 委員長
徳田 貴司 足立区立第九中学校 主任教諭
諏訪 清二 防災学習アドバイザー・コラポレーター
瀧川 猛 千葉県市原特別支援学校 教頭
中川 和之 株式会社時事通信社 解説委員
中村 一樹 国立研究開発法人防災科学技術研究所気象災害軽減イノベーションセンター
センター長補佐・研究推進室長
- 平田 直 東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授
福和 伸夫 名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授
松木 伸江 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 准教授
舟生 岳夫 セコム株式会社 | S研究所リスクマネジメントG 主務研究員
松尾 知純 防災ゲート・パートナーズ 代表
三浦 伸也 国立研究開発法人防災科学技術研究所防災情報研究部門 主幹研究員
南島 正重 東京都立両国高等学校附属中学校 主幹教諭
栗井 明彦 文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室長
五島 政一 国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部 総括研究員
齋藤憲一郎 文部科学省研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室長
田中 昇治 消防庁国民保護・防災課 防災課 地域防災室長
中尾 晃史 内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)
波多野真樹 国土交通省 水管理・国土保全局防災課 防災企画官
林 正道 内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(調査・企画担当)
(2019年7月29日現在、所属役職別50音順、敬称略)

2020年度 防災教育 チャレンジ プラン募集



Disaster Management Education Challenge Plan 防災教育チャレンジプランとは?

全国の地域や学校で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や、質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。

防災教育交流フォーラム

2019年10月19日(土)
2019年10月20日(日)
名古屋コンベンションホール
にて開催

2019年度防災教育チャレンジプランは、
ぼうさいこくたい2019にて
2019年度防災教育交流フォーラム
を開催します。

ぼうさいこくたいとは?
ご家族連れから専門家まで
幅広い方が防災を学べる
日本最大級の防災イベントです。

応募締め切りは
2019年11月29日(金)

2019年度防災教育チャレンジプラン活動報告会

2020年2月15日(土):東京大学 地震研究所1号館(入場無料)

2019年度防災教育チャレンジプラン実践団体による成果発表と、新たに採択された2020年度防災教育チャレンジプラン実践団体による1年間の活動プランの発表を行います。

ご来場の際にはホームページ(<http://www.bosai-study.net>)にて事前登録をお願いします。

主催:防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府(防災担当)、国立研究開発法人 防災科学技術研究所

共催:一般社団法人防災教育普及協会

後援:消防庁、文部科学省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本赤十字社、
全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会、防災未来賞ぼうさい甲子園事務局

1年の流れ（イメージ）

例(A) ○○工業高校
プランの対象者：高校生
小学生（高学年）
保護者・PTA
地域住民・社会人
一般・高齢者等

かまどベンチづくりで子どもからお年寄りまで参加し、防災減災に欠かせない「人のつながり」をつくり被災後の心のケアにつなげると共に、学校や行政との連携を研究し災害に強い地域を作ることを目的とした事例

例(B) ○○防災会
教育対象者：地域住民・防災関係者
保護者・自治体・地域住民に対する「子どもに関する防災意識」向上のために、ワークショップに向けテキスト案を作成し、中間報告会において披露し、防災教育チャレンジプラン実行委員会の助言を参考にテキストの最終原稿を作成した事例



※報告会には、報告書（中間/最終）、発表資料（中間/最終）、展示資料[任意]、配布資料[任意]を準備していただきます。

過去の受賞団体と活動の様子

防災教育大賞 上富田ふれあいルーム
完成版 上富田ふれあいルーム 防災年間計画!
「季節のイベント防災カレンダー」(季節の行事で学ぼう!)製作



1年間の行事に防災を結び付け、防災の日常化に取り組んでいる点、子供が楽しんで実施できる内容で記憶にも残る取り組みである点、多彩な防災プランがどれも汎用性、有効性があり水平展開を期待できる点等が高く評価されました。

防災教育優秀賞 四国遍路の心でつなぐ防災教育研究会
みんな集まれ この指とまれ 防災の輪!!
～生涯学習として楽しく学べる防災の仕組みづくり～
高知県立大方高等学校
高校生が作る地区防災計画

防災教育特別賞 目黒星美学園中学高等学校
わくわく防災減災～逆転の発想で生徒を変え、
生徒が地域を変える防災教育の提案～

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部
医療福祉デザイン学科
つなぐ ～地域、企業、行政、学校の架け橋を目指して～

防災教育大賞 千葉県立矢切特別支援学校
「みんながわかるお天気学習」～雲レーダーを活用した水害対策と気象学習～



支援学校の子供に天候を教えるプロセスが非常に良い点、天候について多くのプログラムを実施し子供たちが自立して環境に適応してきている点等が高く評価されました。

防災教育優秀賞 南阿蘇村立南阿蘇中学校
プロジェクト M(Minamiaso)～守ろう!自分の命・みんなの命～
つくば市立吾妻学園おやじの会
小中一貫防災プラン「つくば吾妻学園」

防災教育特別賞 葉山町立一色小学校避難所運営委員会
避難所運営委員会活動を通じた、地震に強い学校・町づくり

一般社団法人 長洞元気村
高齢者（高齢者）が創る防災教育ビジネスプラン

活動に対する支援（例）

専門家からのアドバイス

台風・大雨の心得
正しい情報を早く知ろう
避難を決定するには
独自の雲・水蒸気観測システム
クロ波放射計
レーザーライダー
ドップラー
マルチセンシング技術
知る予定)

雪崩発生メカニズム
甚大な気象災害（風水害、土砂災害、雪崩被害など）を引き起こす可能性のある、集中豪雨や雷・雹・竜巻などの極端気象、台風、大雪等について研究している研究者からの専門的なアドバイスを受けることができます。

防災活動支援ツールの提供

地域防災Web
地域情報の登録・印刷
防災活動の手法や事例

どの災害の危険性が高いのだろう?

地域防災Web 検索